



魅力ある退公連に



副支部長

佐藤 健二



第 96 号

福島県退職公務員連盟

郡山支部

印刷 (株)上田印刷

TEL 922-4342

日常生活の中で、物忘れが多くなってきました。以前は、大事なものを忘れることはありませんでした。

つい先日、ゴルフ練習場での練習を終え、買い物しようとしてスーパーに行きました。車から降りようとしたら財布の入ったカバンがないのです。一瞬頭が真っ白になりました。

「そうだ！」ゴルフ練習場の座席に置いてきたに違いないと思い出し、すぐにゴルフ練習場に引き返ししました。駆け足で座席に行くと見ると果たしてカバンはありました。ホッとしました、と同時にどっと疲れが襲ってきました。

これ以外にも日常生活の中で物忘れは時々あります。物忘れに注意し

ていても忘れることがある以上、何か無理のない仕事をしようと考え直していました。

そんな折、退公連郡山支部の役員である先輩に声をかけられ、令和5年度に年金部に入れさせていただきました。はじめは、役員会等に出席するも何も分からず、積極的に活動することはありませんでした。

ある時、同先輩から年金部の活動として、会員に年金に係る情報をもっと流すことを検討してみても、との助言とともに、年金に係る新聞記事等を綴ったファイルをみせてもらいました。そのファイルを参考に、年金部から情報を出すことを考えました。まず各新聞記事を調べますと

福島民報社から年金に関する記事が掲載されていきました。そこで、同じ年金部の仲村さんと相談して、年金に係る新聞記事を集めて情報として発信することとしました。

それから、年金部情報を発行する為に富永前支部長、小林事務局長の了解を得た後、その情報を年二回会員へ配布することについて役員会の了承を得ました。また、仲村さんが発行計画を作成して情報を定期的に発行できるようにしました。

終わりに、本郡山支部には「はるかぜ」という合唱クラブがあります。コーラスが好きな人達が月二回中央公民館にて大堀先生の指導の下、楽しく練習をしています。そして、郡山せいわ園、特別養護老人ホーム等に行き、交流しながらコーラス発表をして喜ばれております。

現在、退公連に入っても何もやることがないという声も聞こえてきます。そのような方はまず、本会に入会していただき、歌の好きな方は、ぜひ合唱クラブに入り、楽しむのもよいですし、また、自分達でやりたいクラブを仲間と作っていくのも充実した活動になると思います。

今後、本会の方針に基づく活動の充実を図ると共に、みんなで楽しいクラブを創造していくことも魅力ある退公連になると思います。

受賞者発表

◆秋の叙勲

☆瑞宝小綬章【教育功勞】

内田 貞俊様 (10方部・長者)

◆高齢者叙勲

☆瑞宝双光章

松尾 昌一様 (26方部・台新)

☆瑞宝双光章

木原 清壽様 (35方部・久留米)

☆瑞宝双光章

阿部 幸治様 (80方部・安積町)

◆郡山市功勞者表彰

【自治功勞表彰】

品川 萬里様 (105方部・富久山町)

小野 義明様 (55方部・大槻町)

◆郡山市教育委員会表彰

【教育功勞者】

相樂 正人様 (51方部・大槻町)

佐藤 秀治様 (56方部・大槻町)

堀田 隆様 (96方部・片平町)

中野 光一様 (120方部・須賀川市)

事務局だより (3月の予定)

★3月11日(水) (中央公民館 第5・6・7 講義室)

午後1時～ 第4回役員会

午後3時～ 第3回拡大役員会

★3月26日(木) (中央公民館 第5講義室)

午後2時～ 会計監査会

【お願い】

県退職公務員連盟では百歳賀寿の表彰を行っています。本支部会員の中で、令和8年度中に百歳を迎えらるる会員の方がおられましたら、事務局小林(☎92315353)まで情報をお寄せください。

学び合い、支え合い、高め合う校長会をめざして



郡山市小学校長会 会長 嶋 忠夫 (金透小学校長)

今、学校では、子どもたちに持続可能で豊かな未来を切り拓いていく力を育むために、学校の英知を結集し、教育活動に取り組んでいます。しかしながら、児童数の減少、特

現職の賛助会員から

別な支援を要する児童への対応、不登校児童の学びの保障、教員不足への対応、教職員の働き方改革など解決すべき課題が山積しております。

そのような中であつても私たち校長は、ゆるぎない教育愛とリーダーシップをもって、様々な教育課題に立ち向かわなければなりません。

そのため校長同士が課題や悩みを共有しながら、教育課題に対する研修を通して校長自身の資質向上に努めているところ。今後も各校長の経験と情熱をもとに、「学び合い、支え合い、高め合う」校長会でありたいと考え

ております。引き続き退職公務員連盟の先輩方のご指導、ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

持続可能な学校教育へ



郡山市中学校長会 会長 新田 泰尋 (郡山第一中学校長)

会員の皆様には、日頃よりご支援やご助言を賜り、感謝申し上げます。令和7年度は昨年度に増して猛暑

が続くとともに、熊騒動により各学校はもとより大会開催にも影響し、主催者をはじめ先生方は大変苦労いたしました。そのような中、生徒たちは運動面、文化面において全国大会で活躍するなど、最後まであきらめずに頑張ったと思います。

一方、ICTの有効活用による学びの変革と教え方の変革、不登校対応、働き方改革、部活動の地域展開など、教育課題が山積しております。

そのためには「今までこうやってきたから」ではなく「今までこうやってきたけれど」という視点でできることから改革し、持続可能な学校教育を目指していきたいと考えております。会員の皆様よりそれぞれのお立場でご支援やご助言を賜りながら、

賛助会員の皆様へ

令和7年度も退職公務員連盟郡山支部の賛助会員として、多数の現職の方々にご加入いただきました。誠にありがとうございました。

令和7年度の加入状況は、次のとおりです。

	加入者数	賛助会費	備考
小学校	680名	136,000円	45校
中学校	407名	81,400円	24校
義務教育学校	21名	4,200円	2校
県立学校	6名	1,200円	2校
計	1,114名	222,800円	73校

現職の方々の温かいご理解とご協力に心から感謝申し上げます。皆様からの会費は、貴重な活動財源として活用させていただきます。

福島県退職公務員連盟は、(財)日本退職公務員連盟(会員数約12万名)に加盟する全国規模の組織で、退職後の生活の安定と充実のため、

- 公務員年金制度の堅持及び充実を要望
 - 医療・介護など社会保障制度の充実と負担軽減を要望
 - 地域での社会貢献活動などの推進
 - 会員相互の親睦活動と福利厚生事業などの推進
- を4つの指針として活動を推進しております。現職・退職にかかわらず、公務員の処遇改善に向けて陳情を重ねるなど、鋭意、努力しているところです。

本支部(会員数419名)におきましても、地元選出国会議員への陳情活動を始めとして、「年金を守る」「社会に貢献する」「親睦を深め元気に生きる」を目標に様々な活動を行っております。

退職後は、ぜひ入会され、各種行事や会合に参加していただきますようお願いを申し上げ、報告並びにお礼といたします。ありがとうございました。

山積する課題解決に向けて取り組んでまいります。

「地球市民」として



福島県高等学校校長協会 県南支部長 森下 陽一郎 (福島県立安積中学校・高等学校校長)

会員の皆様には、平素より本県教育の推進にご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年は戦後80年の節目を迎え、「平和」について深く考える1年でした。世界各地では、未だに戦争や紛争により多くの尊い命が失われています。

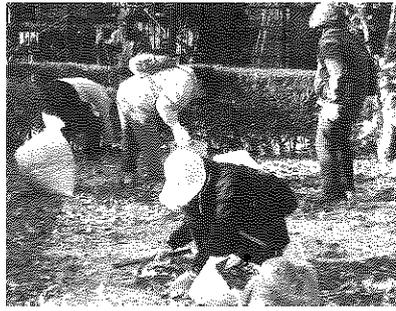
千思万考、改めて平和の礎は教育にあることを痛感いたします。教育を通じ「相互理解」を育むことこそ、世界平和への王道だと確信しております。

SDGs第16目標の実現は教育に携わる者としての大きな使命であり、私自身の目標でもあります。高等学校教育においても、専門的な学びの先にある「地球市民としての生き方・在り方」を意識し、生徒が広い視野と共感力をもって成長できるよう努めてまいります。

今後とも会員の皆様のご支援とご協力を賜り、生徒の健全な育成に努めてまいります。引き続きご指導とご鞭撻のほどお願い申し上げます。

第2回清掃ボランティア活動を実施 〜開成山公園の落ち葉掃き〜

本支部では、「地域での社会貢献活動などの推進」を支部活動の指針の一つに掲げて、各種活動を進めています。11月7日（金）には、第2回清掃ボランティア活動を昨年度に引き続き開成山公園内で実施しました。



当日の清掃活動には趣旨に賛同した14名が参加し、立

冬は柔らかい日差しのもと、公園内の児童広場を中心に、約1時間にわたり落ち葉掃きに取り組みました。参加者からは、「子どもたちが安全に気持ちよく活動することができればやりがいにつながる」「市民のみなさんに気持ちよく公園を利用してもらえるようにしたい」「自分たちの力は微力だが、こうして役に立っている活動ができてうれしい」などの声が寄せられました。また、今年も仲間と共に元気に活動に参加できた喜びが、参加者の

表情から感じ取れました。今回の清掃活動では、落ち葉掃きのほかにごみ拾いも予定していましたが、ごみや空き缶などは一つも落ちていませんでした。郡山市民の公園利用のモラルの高さを実感したひと時でもありました。次年度も開成山公園で清掃ボランティア活動を計画しますので、たくさんの方の参加をお待ちしております。
(事務局 小林)



〈清掃ボランティア活動を終えて〉

紅葉の裏磐梯・蔵の町喜多方を巡る旅

今年の退職公務員連盟郡山支部「会員研修支部旅行」は24名の会員の参加のもと、朝から雲一つない日本晴れという絶好の行楽日和の中で10月30日（木）に実施されました。往路は高速ではなく国道49号を通ったので途中の木々が次第に紅葉する模様が目に入りました。日本有数の観光地「五色沼」はこれ以上だろうなと期待が寄せられました。途中「道の駅猪苗代」で休憩し、五色沼に到着しました。最近の朝夕の寒さですっかり紅葉した林が沼を囲む景観はテレビなどで報道されていた以上で台湾など外国からの観光客も含め大勢の客でにぎわっていました。

後ろ髪を引かれる思いで五色沼を後にし、昼食会場の蔵屋敷「あずま」に向かい、お膳付きの特製喜多方ラーメンに舌鼓を打ちました。

食後の見学は、「大和川酒造店北方風土館」。館内には江戸蔵、大正蔵、昭和蔵、と時代ごとの蔵がウナギの寝床のように並び、昔の酒造りの雰囲気のにんびりと浸ることができました。最後に試飲コーナーやお土産

コーナーがあり、お酒のお好きな方は次々に試飲しておられたようでした。

次に「喜多方蔵の里」を見学しました。ここには広い中庭を中心として、店蔵、穀物蔵、蔵屋敷、味噌蔵などが並んでいました。一部の蔵は「会津の生んだ社会福祉の母 瓜生岩子記念館」になっており、岩子の戊辰戦争での敵味方関係なく看護にあたった業績などを紹介していました。このように次から次へと見学して回った見学旅行でしたが、郡山に戻った時間は予定通りの時間にぴったりで驚かされました。日程の計画に当たられた事務局の方々には心よりお礼と感謝を申し上げます。また今後ますます大勢の会員の皆様の参加を希望します。
(広報部 渡辺)

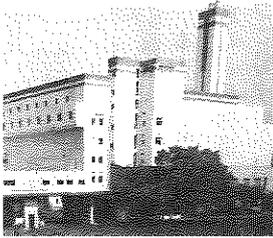


◆女性部◆

心豊かな一日でした！

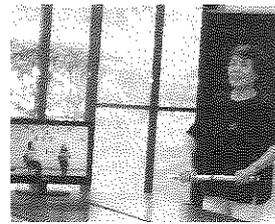
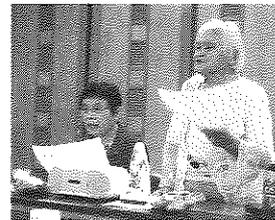
久しぶりに女性部親睦会に参加して楽しい一日になりました。

到着場所は河内クリーンセンターです。現職時代の見学学習以来訪れたことはなかったので変わっていることがあり驚きました。一番変わったのは、粗大ゴミや不燃ゴミの処理過程でした。ゴミ焼却施設と粗大ゴミ処理施設の一体化集中監視と遠隔操作を行い、集中管理によって運転の効率向上と省力化を進めたことでした。大人も子供も少しでも知識が身につけば、ゴミ処理作業が少し少なくなるのではと考えさせられました。見学の後は逢瀬荘へ移動しました。親睦交流会では、自己紹介の後お互い笑顔の時間でした。詩吟を聞いたり体験したりとうきうきしました。先輩の方がまだまだ元気で楽しんでることに幸せを分けてもらえた気分でした。食堂ではおいしいカレーやそばを食べました。



午後の工作活動では新聞紙を使い棒を作りました。その棒を使い棒体操です。手を伸ばしたり足を刺激したり

して楽しい時間となりました。毎日棒体操をすることもいいので楽しみたいと思います。心豊かな一日でした。(遠藤クニ子 90 方部)



絵手紙に思いをこめて

会に参加できない先輩の方や今年の新会員を合わせて36名の会員に絵手紙を送ることが出来ました。以前は絵手紙教室を開きその場で、絵手紙に言葉添えて仕上げていましたが、参加者が減少傾向になり、現在は12月上旬に会員の皆さんに葉書を配り各自自宅で描いて頂き、1月中旬に発送いたしました。今後も絆を大切に絵手紙を送る活動を続けていきます。(鈴木)



◆福祉部◆

教養講座(講演会) 9月10日 「郡山市の歴史Part2」

郡山市中央公民館

講演会に出席し、郷土歴史研究家の角田先生からいろいろのお話を聞くことができた。

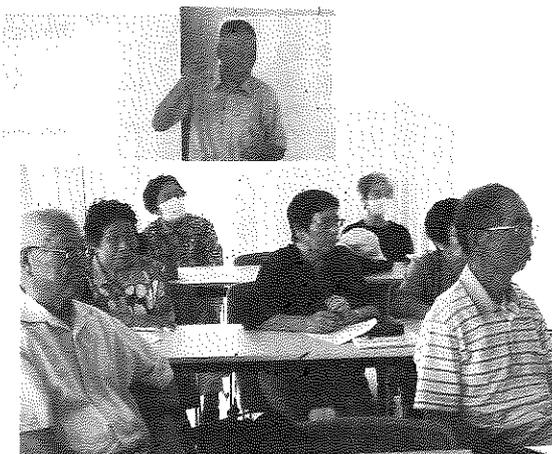
「枳形の石垣」
江戸時代、郡山の宿場出入口には石垣で囲まれた枳形があった。その石が、麓山の滝の石垣や荒池の土手の石垣に使用されているのと。

「寿泉堂病院の成り立ち」
川口半右衛門さんは、列車で隣り合わせた若者、湯浅為之進さんが、帝国大学医学部卒であることを知った。郡山に医療施設が無かったことから、病院を作りたいのでぜひ来てほしいと懇願し、湯浅医院が創設されたとのこと。

「今泉服飾専門学校の成り立ち」
今泉家は、江戸時代に名主で検断も務めた名門だった。今泉丈助さんが教師をしていた時、女子が経済的理由で退学をしていくのを見て、女性の自立と生活向上を図るために、1918年に「郡山裁縫女子校」を創設したのが始まりとのこと。
「安積開拓と安積良斎」

安積開拓が実現できたのは、安積良斎先生の教え子の多くが、明治政府の要職に就いていたことが大きかったと思われること。私は「明治政府が朝敵の会津地に巨額を投じ大事業を実施したのはなぜなのか」と疑問に思っていたので、それも要因としてあったのかなと納得。

その他にも、猪苗代湖の水を安積原野に引くことを最初に提唱した小林久敬の話や「郡山二中は、一中より中心地に近いのに二中なのはなぜ」など、角田先生の話は多岐にわたりあつという間に時間が経過した。今まで知らなかった郡山のことを知ることができ、大変有意義な講習会でした。(越田敏和 66 方部)



わたしの近況・心境 —わたしの楽しみ—

お礼の言葉



品川 万里
(105方部)

2025年4月26日、3期12年の郡山市長職を辞しました。

退任後の9月1日には、椎根健雄郡山市長から12年に亘る市長職を承ったことに対し、郡山市自治功労表彰を賜りました。身に余ることと存じ、改めて皆様方の御配慮に心から感謝を申し上げます。

この12年間を振り返りますと、まず2011年に発生した東日本大震災後の様々な諸課題に皆様と共に取り組ませて戴きました。

次いで2019年10月には、東日本台風により当市をはじめ阿武隈川流域全体に浸水被害が発生しました。

翌年1月16日には新型コロナウイルス感染症の国内初感染事例が発表され、以降瞬く間に全国に蔓延すると、郡山市民にも感染が広がり、その後2023年に漸く5類感染症に移行されました。

以上、私の在任期間は三大災害に

見舞われた期間でありました。この間の市民各位の沈着冷静かつ相互にお支え合い戴いたことに、改めて感謝の意を表します。

このような試練を経ながらも、当市は2016年に馳浩文部科学大臣名において日本遺産認定を、続く2019年に安倍晋三内閣総理大臣名においてSDGs未来都市認定をそれぞれ受け、更に2022年にはハンガリー共和国ノヴァーク・カタリン大統領から市民の代表として市長あてのハンガリー国騎士十字功労勲章が授与されました。

以上、各位に御報告を申し上げお礼の言葉と近況報告とさせて戴きます。

ひとこと 一言の重み



鷺田 和子
(76方部)

人は一生の間に、どのような言葉を頻繁に使用しているのでしょうか。

子育て中のあの頃の私は「早く、早く」と無造作に使ってしまったことを深く反省しています。

あれから四十年余りの時を経て、すっかり家族構成も環境も変化しま

したが、ある日を境に私の使用する言葉は、「ありがとうございます。」が心から自然に口から出るようになりました。

医療と真摯に向き合って下さる医師や看護師さん方が勇気づけて下さった言葉、救急隊員方の力強い対応、再配達の方々のさりげない言葉、業者さんの親切な心配り、友人達の温かいメッセージ、子ども夫婦の言動、夫の言葉に対して「ありがとう」と素直に発するようになりました。

儀礼的な「ありがとう」もありますが、今の私は、その方々の表情、声の柔らかさ、イントネーション、全てが心に響き、余韻が残ります。「ありがとう」は、わずか五文字ですが、人との関わりの中で、とても良い円滑油になり、心も明るくなつて、ポジティブ思考で生きていく動機になつていのではないのでしょうか。

これからも、この言葉のやりとりを大事に育んでいきたいと思えます。



自分らしく一歩一歩



柳沼 文俊
(85方部)

令和元年度に金透小で定年退職し、再任用校長として守山小、安積二小での5年間。そして今年度は、行健二小で4・6学年180名の子どもの達理科専科常勤講師。

へちまやホウセンカ、ジャガイモをはじめとした観察園作りや、実験観察器具の見える化により、自分の選択した方法で実験観察が少しでも可能になる理科室の環境整備。観察園や理科室に行けば新たな発見ができる。興味関心を高め、心を躍らせ、タブレットも活用した写真や文字による記録累積。四季の変化や植物の成長を実感し、問題解決の楽しさを味わう子ども達が一人でも増えることを信じて、もう少しだけ教育現場で歩んで行けたらと思う日々。

こうした毎日を送る中で、今年の酷暑の異常さは、観察園の植物栽培に加えて、自分の家の畑の野菜作りでも一層痛感。母親のレクチャーを受けながらの土作り・苗植え・水やり・追肥・除草等は、その一つ一つが休日だけしか関わっていない私ですが、大変ハード。父の亡きあと、

一人で早朝と夕方に毎日これらの作業を行って来た米寿過ぎの母親のすごさに驚き、感謝で一杯。野菜は手をかけた分だけ実り、食卓を豊かに彩ってくれます。野菜作りを楽しみ、歩を踏み出そうと思いを高める日々。

さらに休日を利用して、庭木の剪定や地元ふるさと保存会の一員としての草刈り&ボランティア活動。年十回以上のゴルフ、大好きな軽井沢を中心とした妻とのドライブ旅行等。

休日フル回転(?)で、できる範囲で自分らしく一歩一歩を重ねたいものです。



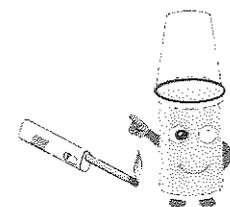
仲村 巧
(28方部)

たくさんのなげを...

退職して十年。現職中からも、理科離れ、科学離れが叫ばれていました。少しでも理科や科学が好きになる子が増えるようにと願っていました。そこで「なぜ」「面白そう」と手軽に楽しめるサイエンスサイトを探したり、科学イベントに参加したりして科学教材を自作していただきました。そんな時、公民館から声をかけて頂き、年2・3回ほど「万華鏡づ

くり」「使い捨てカイロづくり」「木工クラフト」「高吸水性ポリマーで芳香剤づくり」などの「科学教室」を行ってきました。

今年度から、放課後児童クラブからのお声がけを頂き、六方所の児童クラブへ出かけました。今回は、二つのロケット飛ばしを中心に科学教室を行いました。一つ目は「紙コップロケット」です。上蓋を切り取った空き缶に少量のアルコールを吹きかけ、紙コップをかぶせます。しばらく空き缶を両手で



温めた後、空き缶に開けた小さな穴に火をつけると、紙コップが勢いよく1メートルほど飛び上がりました。二つ目は、「発泡剤ロケット」です。外へ出てフィルムケースに入浴発泡剤のかげらと水を入れ、すかさず蓋を閉め地面に置いた後、その場を離れます。しばらく待つと、炭酸ガスが充満し、フィルムケースが飛び上がります。

科学教室を終えた後、指導員の方から「子どもたちが興味を引きつけられ、何度も積極的に行動することができました。飛んだ瞬間歓声が溢れ、心に残る体験となりました。」というお手紙を頂きました。

たくさんの「なぜ」という気持ちから、少しでも科学が好きになり、不思議を探究する子が多くなることを思い願って、日々教材の開発や準備をして楽しんでいきます。

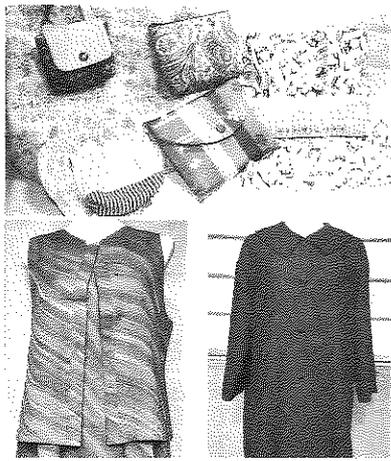
会員の作品

私の手仕事



佐野 祐子
(63-2方部)

ソーイングを始めて3年。小物作りからスタートして、洋服作りへ。着物が好きな母に着せたくて、母の道行コートを毎日着られるコートにリメイク。そして、自分用の簡単なスーツにリメイク。大島紬のリメイクはやりがいがあります。服地での洋服作りも楽しいです。勉強しながらいろいろ作ろうと思っています。



—— お詫びと訂正 ——
前号(第95号)の6ページの記事中、次の誤りがありました。訂正してお詫び申し上げます。
(正) 渡辺嗣雄 (誤) 渡辺嗣男

お悔やみ申し上げます

(令和7年8月〜8年1月)

- 青砥 照男様 武田 芳様
 - 今泉 五郎様 菊地 孝様
 - 渡辺 文男様 一条 久憲様
 - 岡部 宏様 横田亀久恵様
 - 渡辺 勲様 鷺田 洋様
 - 村上 光市様 加藤 恭二様
- 心よりご冥福をお祈り申し上げます

編集後記

この冬、1月16日鷺田洋前広報部長、27日村上光市郡山支部長が相次いで逝去されました。衷心よりお悔やみ申し上げます。お二人の突然のご逝去に接し退職公務員連盟郡山支部の今後の運営のために強い危機感を抱くのは私一人ではないと考えます。郡山支部のすべての皆様のご協力をお願いいたします。(渡辺)

広報委員

- ・ 渡辺 和宜
- ・ 齋藤 榮子
- ・ 武田 修一
- ・ 佐藤ノブ子
- ・ 大越 清美
- ・ 小笠原 慶子